



TITLE:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 108

AUTHOR(S):

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 108. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1961, 108: 39-46

ISSUE DATE:

1961-09-10

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186937>

RIGHT:

京都大学瀬戸臨海実験所振興會

水族館月報

No. 108

1961.8月(9月10日)

録 事

8月7日 青藤省三商店森氏来館。水族館便所を将來水洗式に改造した場合を予想してその排水のため休憩室の下に排水管を通す杯依頼する。

8月10日 住友銀行より水族館の映画を撮影に来る。

8月20日 京大山本和夫教授は新水槽室建築の監督のため来館。

8月23～24日 朝日新聞学芸部記者井手章平氏他学芸部員は水族館記事取材のため来館。

8月25日 新水槽室の棟上げが行なわれた。振興会よりは現場関係の人達に清酒を贈って祝意を表した。

8月26日 水槽内岩組み工事は本日より藤田造園の手によって着手。

水族館新築工事進捗状況

(1) 7月末に完了した工事

- 1 土工事及埋戻盛土
- 2 基礎及地下水槽主体工事
- 3 中二階主体工事
- 4 廻廊工事及鉄骨工事

(2) 其の後8月末までに完了した工事及進行中の工事

- | | | |
|--------------|------|----|
| 1 一階の主体工事及塔屋 | 100% | 完了 |
| 2 防水工事 | 90% | |
| 3 木工事 建具工事 | 50% | |
| 4 石タイル工事 | 50% | |
| 5 電気工事 | 70% | |
| 6 水槽岩組み | 50% | |

- | | | |
|---|--------|-----|
| 7 | 排水工事 | 80% |
| 8 | 屋外排水工事 | 30% |
| 9 | 給水工事 | 15% |

(3) 今後の工事

- 1 硝子工事
- 2 塗装工事
- 3 雑工事
- 4 跡片付け及掃除

業 務 概 況

◎ 8月の入場者数

区 分	大 人		小 人		合 計	
	本月分計	累 計	本月分計	累 計	本月分計	累 計
水族館発売	11004	58054	3017	5793	14021	63847
団体	11877	103713	—	—	11877	103713
交通公社発売	3380	34512	—	—	3380	34512
明光バス発売	27363	123609	3910	6554	31273	130163
合 計	53624	319888	6927	12347	60551	332235
無 料					0	1184

団 体 : 一般 115組, 学生 23組 合計 138組

◎ 8月の事業収入 (今年度累計)

観光券売上金	706,471	6,104,356
窓 口 売 上	423,270	2,909,329
交通公社クーポン	60,451	598,287
明光バス観光券	222,750	2,596,740
予金・積立金利子	92,937	862,223
手 数 料	31,531	313,780
絵はがき拂 下	63,030	255,720
パンフレット拂下	3,840	12,900
南極生物報告拂下	250	826
魚 類 拂 下	—	—
雑 収 入	16,175	17,530
諸施設改善積立金より繰入	4,805,860	15,560,178
合 計	5,720,094	23,127,513

※ 明光バス観光券未収分 大人券 30918枚
小人券 4424枚

◎ 8月の支出

水族館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	143,598	844,424	
会 議 費	5,000	92,046	
備 品 費	18,950	72,900	扇風機他
消 耗 費	289,597	395,549	絵はがき第3集再版他
事 業 費	29,403	298,738	
維 持 費	1,550	39,475	
其 他 諸 費	177,404	503,715	建物及物件借用料他
積 立 金	220,678	1,241,971	
合 計	886,180	3,488,818	

実験所経費

費 用	金 額	累 計	備 考
研 究 費	—	4,530	
奨 学 金	—	60,000	
備 品 費	—	34,294	
消 耗 費	—	—	
刊 行 費	—	102,840	
役 務 費	—	18,520	
合 計	—	220,184	

博物館経費

費 用	金 額	累 計	備 考
人 件 費	27,600	171,815	
備 品 費	1,000	1,000	
消 耗 費	—	3,000	
役 務 費	—	—	
合 計	28,600	175,815	

臨時費

摘 要	金 額	累 計
水族館増築費	4,800,000	15,500,000
増築諸種費	5,860	60,178
合 計	4,805,860	15,560,178

支出合計

(今年度累計)

水族館経費	886,180	3,488,818
実験所経費	—	220,184
博物館経費	28,600	175,815
臨時費	4,805,860	15,560,178
合 計	5,720,640	19,444,995

◎ 〇月末現在高

前月よりの繰越	3,683,064
今月の収入合計	5,720,094
今月の支出合計	5,720,640
現 在 高	3,682,518

◎ 前年度との比較

	1960	1961	増 減
入 場 者 数	52764	60551	+ 7787

水族館記事

- ◎ 数回の潜水採集で得た熱帯性の岩礁魚で水槽を飾ったが、その中の珍しいものは次の通りである。

ツノダシ：6日実験所北の磯で採集，残念ながら8日死亡。

クマノミ：9日西双島にて1個体，12日2個体採集，内1個体は死亡。またクマノミの幼魚を9日西島にて採集したが，体長1cmにみたない位だったのが図に宛えて大きくなり，月末には1.5cmに生長，餌付きもよく元気である。

ミツボシクロズメタイ：9日西双島にて1個体，井ノ島にて2個体，12日高島にて1個体採集。餌付きよく元気。初めての入槽魚。

タスキモンカラ：11日に塔島北端で2個体採集，全口でも珍しい入槽魚であったが，27日には次々と死亡。

ハタタテタイ：11日実験所船場場附近にて1個体，16日堀海岸海水浴場附近の磯にて3個体採集。

ホンソメフケベラ：塔島北端にて11日に1個体採集。

ハクセンズメタイ：高島にて12日に1個体採集。

ムラサキベラ（仮称）：12日西双島にて1個体採集。

サザナミヤッコ（幼）：16日堀海岸附近の磯にて1個体採集。

ヒバショウジウオ：高島にて12日2個体採集。

トゲチウウチョウウオ：高島にて12日1個体採集。

その他，チョウチョウウオ，ソラスズメタイ，オヤビッチャ，シマハギ，メバルなども潜水採集し，入槽した。

- ◎ 24日夜，立谷・右翼浦・細野の浅い砂泥地を廻って，細野にてウミシャボテンを宛付け14個体を採集。ウミシャボテンは数年振りの入槽である。同時にスナイソギンチャク2個体を採集したが，これも数年ぶりの入槽。
- ◎ 12日と13日に亘って，海水取入口およびポンプ室の下の井戸の底泥を掃除した。この時給水状態が悪くなって，中央N0.24水槽中のイシタイ1個体とシオ1個体を死なせた。
- ◎ 31日体長約50cmのバラハタが入槽。
- ◎ 上旬に，折から来白中の神戸市立須磨水族館の奥野良之助氏より魚類の自家採集について助言を得，飼育係員と意見交換し合った。

◎ 増築中の水槽室の水槽に採用するための予備試験をかねて、南水槽室のいくつかの水槽の背景にタキロン色板をはめて、その効果を見ている。薄い青色の透明板などは異行感・深遠感を出すように思われ、色と水槽と魚の組み合わせによってはずい分有効なようである。

◎ 7月31日現在、観覧水槽に收容飼育中の動物は総計161種、2150個体以上で、その内訳は次の通り。

カイメン類	3種、	カブトガニ類	1種、	ウミシタ類	4種、
ヒドロ虫類	1種、	フジツボカメノテ類	3種、	ヒトデ類	5種、
ウミトサカ類	3種、	エビ類	8種、	ウニ類	12種、
ヤギ類	5種、	ヤドカリ類	4種、	ナマコ類	6種、
イソギンチャク類	6種、	カニ類	7種、	ホヤ類	1種、
イシサンゴ類	7種、	ウミウシ類	2種、	軟骨魚類	2種、
ハナギンチャク類	1種、	二枚貝類	4種、	硬骨魚類	58種、
多毛類	1種、	巻貝類	14種、	カメ類	3種、

◎ 8月31日現在、観覧水槽に收容飼育中の動物は、総計167種、1960個体以上で、その種類構成は次の通り。

ヒドロ虫類	1種、	カブトガニ類	1種、	ホヤ類	1種、
ウミトサカ類	2種、	フジツボカメノテ類	1種、	巻貝類	9種、
ヤギ類	4種、	エビ類	8種、	ウミシタ類	5種、
ウミエラ類	1種、	ヤドカリ類	4種、	ヒトデ類	6種、
イソギンチャク類	7種、	カニ類	4種、	ウニ類	9種、
イシサンゴ類	8種、	ヒザラカイ類	1種、	ナマコ類	6種、
ハナギンチャク類	1種、	アメフラシ類	1種、	硬骨魚類	76種、
多毛類	1種、	二枚貝類	5種、	カメ類	3種、

博 物 館 記 事

◎ 7月1日、学生実習の畑島歳採集の際、普通に見かけられるオオアブラクと混じて、非常に珍しい巨大なオオアブラク(内海新種) *Metalia spatages* (Linné) が 1個体採れた。殻長120mm、殻巾120mm、殻高64mm。日本では明治の昔、丹後宮津で採れた記録があるのみ。

資 料

- ◎ 8月の気象 (9時観測)
南水槽壁 (水温・比重はN0.25水槽)

	上 旬	中 旬	下 旬
晴天日数 26	8	8	10
室 温 (°C)	$\frac{25.4 \sim 29.5}{27.5}$	$\frac{27.7 \sim 29.0}{28.3}$	$\frac{27.8 \sim 29.3}{28.7}$
水 温 (°C)	$\frac{25.74 \sim 27.70}{27.02}$	$\frac{27.23 \sim 28.39}{28.03}$	$\frac{27.70 \sim 29.23}{28.54}$
比 重 (0.15)	$\frac{23.78 \sim 24.47}{24.06}$	$\frac{24.43 \sim 24.83}{24.68}$	$\frac{23.49 \sim 25.18}{24.15}$

取入口

水 温 (°C)	$\frac{24.80 \sim 28.60}{27.33}$	$\frac{27.97 \sim 29.53}{28.92}$	$\frac{24.81 \sim 29.43}{28.66}$
比 重 (0.15)	$\frac{23.81 \sim 25.26}{24.74}$	$\frac{24.46 \sim 25.26}{24.93}$	$\frac{24.00 \sim 25.19}{25.00}$

来 訪 録

8月20日 京都大学横田事務局長、松本庶務部長他庶務部員4名来館。

昭和36年9月10日 (NO.108)

編集兼
発行所

山 路 勇

発行所

瀬戸内海実験所振興会
和可山県白浜町
瀬戸内海実験所内
(Tel.白浜温泉515)